上内ふれあい

まち協
１５号

発行責任者 上内校区まちづくり協議会会長　井上 光博

編集　上内校区まちづくり協議会広報部会

令和３年６月１１日発行

新会長に井上さん

副に野田さん選任

上内校区まちづくり協議会総会が五月に上内小学校ふれあいホールで開かれ、提案された全議案を拍手で承認。役員選任では境眞士夫会長が勇退されたのに伴い、副会長だった井上光博さんが会長に、空席となった副会長には会計だった野田卓朗さん。書記（主事）の小原郁夫さんと会計の境信剛さんが再任され、新体制が整った。

事業計画決まる

同協議会は自治と自立の精神をもって、上内校区地域住民の親睦と融和をはかり、文化、体育の向上と地域振興及び住みよい環境づくり、福祉の増進に寄与することを目的にしている。様々な事業を展開するが、上内校区の町内公民館連絡協議会、各町内公民館などの地縁組織、同校区内での活動に関連する組織及び団体等、その他協議会の目的に賛同する組織及び団体等で構成される。運営委員は二七人（兼務を含む）。

総会で提案され、承認されたのは五議案。協議会規約は会計を二人から一人にすることが変更点。内規もそれに伴っての報酬の変更など。役員の選任は井上会長の選任などのほか、会計監査に東孝明さんと田中健治さんの二人に決まった。

事業計画は、運営委員会を毎月中旬に一回行う。夏祭りは八月二十日に、健康力アップ事業は十月二十四日、年度末宿泊研修は三月中旬、広報紙の発行は年四回、体育行事は上内小ふれあい運動会が十月三日、グラウンドゴルフ大会が十月十七日、公民館対抗グラウンドゴルフ大会が十一月七日（予備日十一月十四日）、ニュースポーツペタンク（二月二十日）。

社会福祉は社協総会（六月二十五日）、日赤献血（七月八日）、日赤募金（七月十三日）、明るいまちづくり募金（七月十三日）、SOS模擬訓練（九月十九日）、赤い羽根募金（十一月十二日）、歳末助け合い募金（十二月十三日）、通学合宿の六月分は中止。防犯 子どもは交通安全事業が（十月二十四日）、十二月に年末防犯運動、防災対策事業（一月三十日）、暴追大会参加、子ども見守り、子どもサロン運営、いきいき交通キャンペーン（六月一日～十月三十日）。

衛生は環境美化の日清掃活動（六月六日）、校区一斉清掃活動（八月一日）、環境・健康づくり募金（八月十日）、環境美化の日清掃活動（十月三十一日）。

活性化は夏祭り、門松つくり（十二月十九日）。その他、市や地域行事として銭太鼓踊りとひゅうたん廻し（九月二十五日）などを挙げている。

選任された役員たちが紹介され、代表して井上会長が「安全で安心できる地域に、また暮らしよい上内校区を目指して様々な取り組みを進めたい。みなさんの協力を得て頑張りたいと思います」と抱負を述べた。



紹介されるまち協新役員たち

特定地域選択制を廃止

新大牟田駅付近の通学地域
上内小吉野小の取り扱い決定

大牟田市教育委員会が市立学校通学区域審議会に諮問した九州新幹線「新大牟田駅」の開発地域の取り扱いに関して答申を受けたことや学校関係者や地域団体、該当地域住民の意見や要望を踏まえて決定したことを上内校区まちづくり協議会運営委員会で説明した。すでに今年四月一日から変更実施が行われている。

この地域は新大牟田駅付近の開発地域である岩本新町一丁目、二丁目で、通学区域審議会の答申を受けて上内小学校と吉野小学校の通学地域境を決定していたが、教育的配慮から特定地域選択制が導入された。だが一定期間が終了したことから選択制を見直し校区を定めた。

決定事項は①特定地域選択制を廃止する。ただし、現在通学している児童やその兄弟姉妹等については同一校に通学できるなどの教育的な配慮を行う②教育的配慮の前記以外の案件に関しては個別対応となることから、教育委員会事務局学校教育課へ申請・協議の上で通学する学校を決定③校区境は平成二十二年に定めた校区境のままとする④通学区域の取り扱いの実施時期については令和三年四月一日からとする。

同地域の上内小校区内には十数人の児童がいるが、すべて家族などの希望により吉野小へ通学。選択制が廃止されたことにより、将来的には上内小への通学児童が増えることが予想される。上内小の四月時点の児童数は五十四人で一年生は六人。そのうち、よその校区からの転入は三人。だが、岩本新町からの通学はゼロ。学校やPTAは今回の決定を受け、今後は上内小をPRしていきたい考え。



上内小・吉野小校区境図

関市長と意見交換
上内校区で出前室　大雨災害復旧など要望

出前市長室が三月に上内小学校ふれあいホールで開かれ、上内校区まちづくり協議会運営委員などと意見交換した。出前市長室には三〇人ほどが参加。校区内の様々な問題や課題を挙げ、その対応策などを聞いた。関好孝市長は「関係機関などと協力して取り組む」などと前向きな返答をしていた。

市長室は市長が各校区に出向き、住民と直接会って意見交換するもので、それらの意見を市政に生かす狙いがある。上内校区は昨年の豪雨で農業用地などで多大な被害が出ていた。

市長室は大雨で被害を受けた現地視察の後に行われた。意見交換には関市長の他に副枝修副市長や担当部長、課長などが同席し、市長答弁の補足を行った。

まず、上内校区まちづくり協議会の境眞士夫会長（当時）が「令和二年度は新型コロナウィルスの影響でほとんどの行事を中止せざるをえなかった。それに七月の豪雨で上内校区も甚大な被害があった。きたんのない意見を出して」と要望。関市長は「上内校区は市内でも有数の農業地帯。豪雨の被害が集中してあった。ここは公民館加入率が高く、地域の絆（きずな）が深い。ふれあい運動会やふれあい相撲など学校と地域が一帯となって行事をやっている。安心して住める上内校区をつくるために意見を聞き、参考にしたい」それに「全力で災害復旧、災害のないまちづくりに取り組んでいく」と約束。

出た質問や要望はため池やいぜき、さらに橋や道路、のり面、河川などで出され、上内小学校の被害や、南関町との県境への対応など多彩に及んだ。



関市長などと意見交換が行われた出前室

公民館対抗グランドゴルフ大会

令和二年　十一月一日（日）町内公民館対抗グランドゴルフ大会が晴天の中行われました。前回の個人戦に引き続き声援が飛び交う大接戦の大会になりました。

優勝　下坂井公民館
準優勝　広瀬公民館
三位　上坂井公民館

ホールインワン
佐藤　武秀（中原）
久保　立美（湯谷）


グランドゴルフ大会に参加された皆さん

立派な門松ができました

令和二年十二月二十日（日）、上内校区まちづくり協議会運営委員会が制作した門松が、上内小学校正門に飾られました。大きな竹を切り、準備して十人ほどで組み立てました。子供たちが無事に平穏に過ごせようにという願いから、八年くらい前から作られています。後日、上内小学校の子供たちが感謝の言葉を贈りました。


運営委員会の皆さん